

社会保険労務士稲門会会報

都の西北

第10号

2007年9月5日 発行：社会保険労務士稲門会
発行人：藤原 久嗣

第7回定期総会・母校125周年の年に！ 2007年6月30日

2007年6月30日（土）午後3時よりリーガロイヤルホテル東京にて本年度の「定期総会」が開催されました。2001年7月に社会保険労務士稲門会が設立され、今年で7回目の開催となりますが、本年は母校創立125周年の節目の年でもあり、来賓に江夏健一副総長を迎え盛況のうちの開催となりました。



第1部・定期総会

第1部の定期総会は、御代田和典幹事（埼玉会）の司会、藤原久嗣会長の挨拶で開会し、議長に笠原正利副会長（埼玉会）を選出した後、大南弘巳幹事長（東京会）、巻島剛常任幹事（東京会）からそれぞれ2006年度の事業報告、決算報告が行われ、続いて両氏からそれぞれ2007年度の事業計画案および予算案が提案され、いずれの議案も満場一致で可決されました。次に役員改選の議事に入り、砂田和郎会計監査（東京会）の逝去に伴っての一杉則夫幹事（東京会）の会計監査就任、香川忠成氏（埼玉会）、石川理恵氏（千葉会）の新幹事就任が、これも議案どおり満場一致で承認・可決されました。

続いて、小松茂樹顧問（東京会）から連合会の活動近況について報告があり、年金記録問題に対する連合会の対応や第三者委員会制度についての説明がありました。

その後の講演会では、来賓の江夏健一副総長から、本年度で創立125周年を迎える大学の近況について、大学が目指す今後のあり方とその取り組みについてお話いただき、住吉忠男副会長（東京会）の閉会の挨拶をもって第1部を終了しました。

※題字は小林昌尚顧問の筆によるものです。

「第7回定期総会」—2007年6月30日（土）リーガロイヤルホテル東京にて



総会で挨拶を述べる藤原会長



総会に出席の会員の皆さん



大学の近況を語る江夏副総長

第2部・懇親会

第2部懇親会は、引き続き同会場で、香川忠成幹事の司会、藤原会長の挨拶で開会し、来賓の創立125周年記念事業募金局の廣瀬剛課長から募金活動の現況報告があり、古本代志雄幹事（福岡会）による乾杯の後、歓談に入りました。他土業稲門会や他大学社労士会の方々からもご祝辞をいただき、また新参加者の紹介等も行われ、多方面に交流を深めることができました。

最後に、廣瀬課長の音頭で、参加者全員による校歌の斉唱が行われた後、村上芳明副会長（東京会）による中締めと閉会の挨拶をもって、盛況の裡に無事お開きとなりました。



懇親会風景。会場のおちらこちらで会員同士の歓談の花が咲きました。



恒例の新会員の紹介



最後は全員で校歌を斉唱

創立125周年記念事業募金局の廣瀬剛課長に校歌の指揮をしていただきました。



母校—ロメモ「早稲田と125」

早稲田大学において125という数字は重要な意味を持っています。大学創設者大隈重信が「人生125歳説」を深く説いており、以来125という数字は早稲田大学および大隈重信に深く関わる数字として扱われるようになりました。大隈講堂の塔の高さも125尺で設計されています。

それゆえに早稲田大学において125周年記念というのは非常に重要な節目なのです。

（母校ホームページより抜粋）

ご出席いただいた来賓の方々

- ◆大学関係
 - 早稲田大学 副総長 江夏 健一 様
 - 早稲田大学 創立125周年記念事業募金局課長 廣瀬 剛 様
- ◆他大学社会保険労務士会関係
 - 桜友社会保険労務士会（学習院大学）副会長 岡西 日出男 様
 - 社会保険労務士駿台会（明治大学）事務局長 赤森 伸子 様
 - 社会保険労務士東京桜門会（日本大学）幹事長 牧野 武夫 様
- ◆土業稲門会関係
 - 税理士稲門会 会長 山口 賢一 様
 - 行政書士稲門会 副会長 山口 眞美 様
 - 司法書士稲門会 常任理事事務局次長 山岡 透 様

平成19年度 社会保険労務士稲門会・役員一覧

役名	氏名	卒業年・所属会	役名	氏名	卒業年・所属会
名誉会長	福島 誠一	昭11年卒-東京会	幹事	北村 修一	昭46年卒-長野会
顧問	小林 昌尚	昭30年卒-東京会	//	小泉 孝之	H 1年卒-静岡会
//	小松 茂樹	昭29年卒-東京会	//	近能 明正	昭58年卒-栃木会
//	坂井 俊一	昭36年卒-東京会	//	茶郷 穰 (厚生)	昭41年卒-東京会
会長	藤原 久嗣	昭40年卒-東京会	//	澤井 賢治 (広報)	昭42年卒-神奈川会
副会長	笠原 正利	昭47年卒-埼玉会	//	白岩 洋一 (広報・写真)	昭60年卒-東京会
//	住吉 忠男	昭36年卒-東京会	//	関口 光英 (広報・HP)	昭59年卒-埼玉会
//	中島 浩喜	昭52年卒-愛知会	//	田口 紘一	昭41年卒-東京会
//	堀口 利	昭29年卒-東京会	//	永山 恭一	昭48年卒-神奈川会
//	村上 芳明	昭41年卒-東京会	//	花山 訓子 (会計)	平 9年卒-東京会
幹事長	大南 弘巳	昭51年卒-東京会	//	藤野 弘	昭40年卒-福井会
副幹事長	蒲生 秀晴	平 5年卒-東京会	//	古本代志雄	昭49年卒-福岡会
//	常盤 有美	昭42年卒-東京会	//	増山 育男 (渉外)	昭49年卒-神奈川会
//	林 智子	昭54年卒-東京会	//	見方 雅教 (研修)	平11年卒-東京会
常任幹事	二宮 孝 (研修)	昭54年卒-東京会	//	御代田和典 (研修・広報)	昭53年卒-埼玉会
//	古谷 仁 (厚生)	昭60年卒-東京会	//	横山 弘美	昭55年卒-福岡会
//	巻島 剛 (会計)	平 3年卒-東京会	//	若林 香苗	平 5年卒-東京会
//	和田 泰明 (広報)	昭56年卒-東京会	//	若林 正清	昭55年卒-三重会
//	渡邊 和洋 (渉外)	昭46年卒-東京会	//	若山 誉 (研修)	昭62年卒-神奈川会
幹事	大津 章敬	平 6年卒-愛知会	// (新)	石川 理恵 (厚生)	平 1年卒-千葉会
//	小笠原浩之	昭59年卒-秋田会	// (新)	香川 忠成 (厚生)	昭58年卒-埼玉会
//	長部ひろみ (総務)	平 2年卒-東京会	会計監査	中川 伸一	昭40年卒-東京会
//	神谷 俊夫	昭48年卒-群馬会	// (新)	一杉 則夫	昭42年卒-東京会
//	北 隆一 (広報)	昭58年卒-和歌山会			

新役員のご挨拶

石川 理恵 新幹事 (千葉会)

このたび幹事となりました石川理恵と申します。卒業して20年近く経ちますが、ずっと離れていた母校とまたこのようにつながりができたことを嬉しく感じています。

私が初めて稲門会の会合に参加したのは今年3月の勉強会でした。先輩方には大変あたたかく温かく迎えていただき、心底参加してよかったと感じられた集まりでした。

しかしながら、同窓のよしみでの居心地の良さに浸り甘えるだけではなく、少しでも皆様のお役にたてるよう前進せねばと戒めております。至らぬ点等お叱りくださいますようお願いいたします。

私は開業してまだ1年も経っておらず、このような私を仲間に入れてくださったことに感謝を忘れずに、この会で感じる温かいつながりが大きく広がっていくよう、微力ながら努力していく所存です。どうぞよろしくようお願いいたします。

香川 忠成 新幹事 (埼玉会)

私は、昭和58年3月法学部を卒業、以後生命保険会社に23年勤務の後、会社の合併を期に早期退職し、平成17年10月1日にさいたま市大宮区で開業致しました。この度は幹事を仰せつかりましたが何分経験も浅く、色々と不手際、失礼があるかと存じますが何卒宜しくお願いします。

さて、早いもので今年で卒業して25年となります。100周年時の早慶戦での大隈公の100万円札の看板も今は昔の話です。丁度私が入学した年は4番サードが阪神の岡田監督でした。また当時は駅伝も強くロサンゼルスオリンピック8位入賞の故金井豊氏は同学年であり、京浜急行で応援に行った思い出があります。

さて、お蔭様で現在までは曲がりなりにも何とか糊口を凌いで参りましたが、実務経験の無かった私には暗中摸索の毎日でした。その間に稲門会を知り、皆様と出会えたことは本当に幸運であり、本当に心強く感じたことです。今後は少しでもご恩返しができればと思っております。

当会会員で、名古屋の株式会社「名南経営」の気鋭の人事コンサルタントとして、企業コンサルティング・執筆・セミナーなど多岐にわたりご活躍中の大津章敬氏より、広報委員会からの要請に基づき、コンサルティングの現場で感じておられることについてのご寄稿いただきました。

会員寄稿

現場で感じる人事制度の風向きの変化

大津 章敬（愛知会）

みなさん、こんにちは。名古屋の名南経営に所属しております大津章敬と申します。さて、私は平成6年3月に法学部を卒業し、新卒で名南経営に入社して以来、人事制度設計を中心としたコンサルティング業務を行っており、今年で14年目になります。この10年強という短い期間ではありますが、人事制度改定の現場においてその風向きの変化を感じていますので、今回はその変化について原稿を投稿させて頂こうと思います。

時期	期間区分	人事制度の風向き
1995年 ～2000年	職能給見直し期	<input type="checkbox"/> 年功序列に流れてしまった職能給制度を見直したい。 <input type="checkbox"/> 年俸制を採用し、やればやっただけの賃金を支給できるようにしたい。 <input type="checkbox"/> 在職中の貢献度を支給額に反映するポイント制退職金を採用したい。
2000年 ～2005年	成果主義全盛期	<input type="checkbox"/> ベアや定昇を廃止し、成果主義の人事処遇を徹底したい。 <input type="checkbox"/> 総額人件費管理を徹底し、代替性の高い人材群の賃金は抑制したい。 <input type="checkbox"/> 退職金は廃止し、前払い退職金を導入したい。
2005年～	ポスト成果主義	<input type="checkbox"/> 人材採用を円滑化し、安定した労働力を確保したい。 <input type="checkbox"/> 企業業績と連動した賞与制度を導入したい。 <input type="checkbox"/> 退職給付制度は、確定拠出年金なども含めた本見直しを行いたい。

表は私が現場で感じている人事制度の風向きの変化ですが、私がコンサルを始めて以降だけ見ても、このように人事制度のトレンドが変遷しています。数年前までは成果主義の徹底による総額人件費管理が大きな課題となっていました。ここ数年でその風向きはすっかり変わり、現在は「安定的な人材の確保と育成」が人事制度改定における最大のキーワードとなっています。もちろん総額人件費管理の考え方が失われた訳ではありませんが、それをベースに、より効果の高い制度を模索する動きが続けられています。

こうした変化と同時に進行しているのが、労働者の上昇志向の低下による従来型の人事制度の機能不全という現象です。従来型の人事制度は、社内資格という階段を上っていくことで給与が増加する仕組みに表れているように、基本的に社員の「より良くありたい」という上昇志向を前提に組み立てられています。しかし、いま、仕事と生活のバランスを考え、この階段を上ることを拒否する者が増えており、人事制度として十分な効果が出ないという例が急増しています。この背景には人事制度を設計する企業経営者やコンサルタントという人種は総じて上昇志向が強いため、こうしたスローキャリア型の人材の考え方を本質的に理解できないということが労使の考え方のギャップを大きなものにしてきているように感じますが、今後はこのように多様化した労働意識を持つ人材をどのようにモチベートし、処遇するかがこれからの人事制度における最大の命題になるのではないかと考えています。

本会関連イベントのご案内 会員の皆様はどうか奮ってご参加ください!

「第4回 勉強会」開催のご案内 9月8日(土) 渋谷区勤労福祉会館

今回のテーマは、ケーススタディ「全社員年俸制と時間外問題」です

既に7月下旬に会員の皆様のお手元にはご案内が届いているかと存じますが、今年3月に引き続き第4回の勉強会を開催いたします。是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

【日時】 2007年9月8日(土) 午後2時～5時
【場所】 渋谷区勤労福祉会館 渋谷区神南1-19-8 TEL 03-3462-2511
(JR渋谷駅より徒歩10分弱)

【題目】 ケーススタディ「全社員年俸制と時間外問題」
【講師】 当会常任幹事 和田 泰明氏
【参加費】 1,500円

※ なお、勉強会終了後に懇親会も予定しています(4,000円程度の実費)。多くの人にご参加いただきたいと思います。〔研修委員会より〕

2007 稲門祭 & HOME COMING DAY 10月20日(土) 母校キャンパス

今年も当会は「年金労務相談コーナー」を出店します!

今年もまた「ホームカミングデー」が母校において開催されます。校友による、校友のための祭典「稲門祭」との同日開催となるホームカミングデーは、校友に、大学の近況に触れ、懐かしい恩師や学友と再会し、交流・親睦を深めていただくためのもので、創立125年を迎える今年のテーマは「拓け!ワセダ新世紀」です。

社労士稲門会は、例年どおり本部キャンパス大隈銅像近くに「年金労務相談コーナー」を出店し、今回もまた業務知識を役立てて校友との交流を図りたいと思います。

我が会は、2003年のホームカミングデーに土業稲門会として初めて出店しましたが、「年金加入記録問題」で揺れる世情の中で5年目を迎える今年は、より中身の濃い、校友の方のためになる相談を目指して頑張りたいと思います。

社労士稲門会では毎年、相談員・お手伝いのボランティアを募集をしています。「年金労務相談コーナー」についてのお問い合わせは、当会事務局まで(連絡先は会報最終ページ参照)、ホームカミングデーの詳細は <http://www.waseda.jp/alumni/hcd/index.html> をご覧ください。

「第6回 講演と懇親の夕べ」のご案内 12月1日(土) ホテル銀座ラフィナート

「第6回 講演と懇親の夕べ」を、今年も下記のとおり開催しますので、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

【日時】 2007年12月1日(土) 午後3時～6時30分
第1部 講演会(午後3時～4時20分) 講師: 平野 文彦 日本大学経済学部教授(稲門出身)
日本賃金学会会長

演題: 企業における労務管理のパラダイム変化
ー ヨーロッパにおける変質から考える

第2部 懇親会(午後4時30分～6時30分)
【会場】 ホテル銀座ラフィナート 中央区銀座1-26-1 TEL 03-3561-0777
(東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅7番出口より徒歩3分、銀座線京橋駅1番出口より徒歩5分、都営地下鉄浅草線宝町駅A1出口より徒歩1分)

【会費】 6,000円

【連絡先】 「社会保険労務士稲門会事務局」(TEL 03-3543-6326:市村)まで
※ 詳細は厚生委員会より追って皆様にご通知いたします。

第3回・勉強会「安全衛生実例紹介」ご報告 — 研修委員長・二宮 孝

2007年3月24日(土)午後2時より5時まで、西早稲田にある奉仕園の会議室にて、昨年11月に引き続いて第3回の勉強会が開催されました。テーマは「社員を活かし、企業を守る安全衛生のポイント(注:テキストのタイトル)」で、当会会計監査の中川伸一氏(安全衛生コンサルタント・東京会)にお願いして講師を務めていただきました。中川氏は前勤務先で長年安全衛生業務に携われ、労働大臣優秀企業に導かれた実績もあります。

安全、衛生管理の基本から対応策へとデータと理論面からの解説が行なわれました。一方的な講義にとどまらず、ビデオや小テスト、ロールプレイングなども含めて立体的に行なわれました。小テストでは、安全点検図表を見て不安全行為が果たしていくつかあるかチェックを行うもので、問題点が30項目を超えて指摘されたのには驚きました。ロールプレイングでは、各チームに分かれて、個々に模擬安全確認作業を行いました。

最後に安全衛生管理は問題解決学であって、コストではなく人材育成の投資であること、これを認識しての活動かどうかで効果に大きな差がでることに皆が納得した次第です。普段当たり前のように感じている「安全、衛生であること」の重みを新ためて感じました。時間が足りなかったのが残念です。(勉強会17名参加)

勉強会終了後は、ケータリングサービスを利用した初めての試みで、同会場で引き続いて懇親会を開きました。中川氏を囲んで缶ビールを片手に懇親を深めました。(15名参加)



熱っぽく講演中の中川講師



実技を交えて



活発に行われた全体討議

◆◆◆ 社労士稲門会への入会方法 ◆◆◆

社会保険労務士稲門会事務局にまずご一報ください。
事務局から入会申込書をお送りいたします。入会申込書をご提出いただいた後、改めて、年会費(5,000円)振込用紙、会則、会員名簿をお送りいたします。
連絡先: 下記、「事務局」まで URL: <http://www.sr-waseda.com>

新会員をご紹介下さい!!

仲間を探しています。社会保険労務士としてのつながりの輪を日本中に大きく広げていきたいと思っております。是非ご協力下さい。

【発行】社会保険労務士稲門会

《事務局所在地》
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4
共同ビル新銀座5階
ヒューマンテック経営研究所内
TEL 03-3543-6326 FAX 03-3543-6169

2007年6月17日に神宮球場で行われた全日本大学野球選手権大会の決勝戦で、母校野球部は東海大学を4対1で下し、33年ぶりの大学日本一に輝きました。33年前は丸山球場での開催だったので、学生野球のメッカ神宮球場での優勝は1959年以来、実に48年ぶりということになるそうです。

前日の準決勝に引き続き先発した斉藤佑樹投手は6回まで東海大打線を1点に抑える好投で勝利に貢献し、大会の最高殊勲選手に選ばれました。スゴイですね、1年生でMVP!!



写真: 時事通信社

編集後記

おかげさまで無事に会報第10号を発行することができました。ご指導いただいた役員、幹事、広報委員の皆さん、そして何よりもご寄稿いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。(和田)